

Hệ thống quản lý từ vựng cho các dự án outsourcing

Project Plan

2020/07/12 v1.0

Hybrid Technologies

Development department

Version	Content	HT	FOS
		Author	Approve date
		Confirm	Approver
V1.0	2020/07/12 First version		

目次

1.	MỤC ĐÍCH CỦA DỰ ÁN	4
1.1.	MỤC ĐÍCH CỦA TÀI LIỆU NÀY.....	4
1.2.	MỤC ĐÍCH CỦA DỰ ÁN	4
1.3.	MỤC TIÊU CỦA DỰ	4
1.4.	PHẠM VI DỰ ÁN	4
1.5.	具体的方針	6
1.6.	作成成果物	6
2.	開発手順及び工程終了基準.....	7
2.1.	開発手順.....	7
2.2.	工程終了基準.....	8
3.	リリース判定基準	8
3.1.	リリース判定の概略	8
3.2.	リリース判定基準.....	9
3.3.	プロジェクト完了条件.....	9
4.	プロジェクト体制	9
4.1.	体制図	9
4.2.	役割.....	10
5.	スケジュール管理	12
5.1.	マスタースケジュール	12
5.2.	WBS と日次スケジュール管理	12
6.	コミュニケーション管理.....	12
6.1.	会議体	12
6.2.	連絡方法.....	13
6.3.	レビュー計画.....	14
6.4.	調査報告等	14
7.	進捗管理方法.....	14
8.	品質管理	15
8.1.	品質確保の方法	15
8.2.	バージョン管理	15
9.	リスク管理・課題管理・QA 管理	15
10.	変更管理	16
11.	外部資料管理方法	16

略語

FFOSirst OutSourcing

HT Hybrid Technologies

DB データベース

HW ハードウェア

SW ソフトウェア

PJ プロジェクト

PM プロジェクトマネージャ

PG プログラマ

WBS 詳細スケジュール

1. Mục đích của dự án

1.1. Mục đích của tài liệu này

Tài liệu này mô tả tổng quan thông tin về dự án “Hệ thống quản lý từ vựng cho các dự án outsourcing” giữa hai công ty FirstOutSourcing (gọi tắt là FOS) và Hybrid Technologies (gọi tắt là HT). Tài liệu mô tả yêu cầu về deliverables, quy trình, phương châm thực hiện dự án, master schedule, sơ đồ tổ chức...

Mục đích của tài liệu này là định nghĩa các hạng mục mà thành viên dự án phải tuân thủ trong quá trình thực hiện dự án, qua đó đảm bảo hiệu suất và chất lượng công việc, giúp cho dự án thành công.

Trong quá trình phát triển dự án, tài liệu này có thể được thay đổi để phù hợp với hiện trạng dự án, với điều kiện được sự chấp thuận của công ty FOS.

1.2. Mục đích của dự án

Mục đích của dự án là phát triển hệ thống quản lý từ vựng cho các dự án outsourcing của công ty FOS, theo mô tả trong mục 1.4, nhằm nâng cao hiệu suất công việc cho các đội phát triển của công ty FOS.

1.3. Mục tiêu của dự

Mục tiêu của dự án là hoàn thành việc xây dựng hệ thống hỗ trợ quản lý từ vựng cho các dự án outsourcing. Dự án sẽ hoàn thành vào ngày 4/10/2020.

1.4. Phạm vi dự án

Các tính năng nghiệp vụ và ngày release như sau

本プロジェクトにおける改修案件の概要及びリリース日は次表のとおり。

#	Tính năng	Description	Release date
1			
1.1			
1.2			
1.3			
1.4			
1.5			
1.6			
2			
2.1			
2.2			

2.3			
3			
3.1			
4			
4.1			

1.6.1.5. Phương hướng thực hiện

Đội phát triển chia thành 2 team tại Nhật Bản và Việt Nam.

- Đội tại Việt Nam làm các công đoạn như cài đặt môi trường, Basic Design, Detail Design, Coding, Unit test.
- Đội tại NhaajtBanr làm các công đoạn Requirement Definition, Basic design, phát triển một phần, UT một phần, IT/ST, migration.

1.7.1.6. Deliverables

Sản phẩm output và tài liệu được định nghĩa như dưới đây.

Sản phẩm sẽ được giao nộp khi kết thúc mỗi công đoạn.

- Quản lý dự án
 - Project plan
 - Progress report
 - 工程判定会議資料
 - リリース判定会議資料
- Design
 - Basic design
 - Detail design
 - Operation design
 - Operation manual
 - User manual
- Development
 - Source code
 - Runing package
 - Batch job, job definition
- Test
 - Intergration test plan, test case, test report.
 - System test plan, test case, test report.
- Migration
 - Migration plan, migration manual.
 - Migration report.
 - Project completion report

Sản phẩm của mỗi công đoạn cần được giao nộp cho FOS để được kiểm tra, xác nhận trước khi trở thành sản phẩm hoàn thiện được bàn giao. Bước này cũng cần được phản ánh rõ ràng trong WBS.

Việc giao nộp sản phẩm cũng cần được phản ánh schedule/milestone trong WBS.

2. 開発手順及び工程終了基準

2.1. 開発手順

#	工程名称	工程作業の概要
1	IT 企画・立案等工程	プロジェクトの各段階の計画を設定する。
2	要件定義工程	業務のシステム化に対する様々な「要求」を調査分析し、システム化の対象を絞り込み、最終的な「システム要件」を定義する。
3	基本設計工程	要件定義で明確化された内容を基に、実現可能性を確認し、開発方針を整理する。
4	詳細設計工程	プロジェクト対象範囲の業務について、必要に応じてプロトタイプを実施することにより、追加開発機能、画面、レポート、権限、インターフェースに関する設計を行う。
5	製造～単体テスト工程	プログラムの製造を行う。また、対象のモジュールが要求定義書等で要求された機能や性能を満たしているかどうかをテストする。
6	結合テスト工程	各プログラムをつなげて機能レベルのテストを行う。
7	総合テスト工程	システム全体を対象として、設計どおりにプログラミングされているか、機能間の連携は取れているか等の検証を行う。

2.2. 工程終了基準

プロジェクトにおける各工程の終了判定は 6.1 の工程判定会議で判定する。判定基準は次のとおり。

工程	終了基準
基本設計	<ul style="list-style-type: none"> 基本設計書の作成が完了し、必要なレビューが終了していること。 基本設計書の品質評価を行い、基本設計を終了して問題がない品質であること。 課題については整理され、対応計画が立てられていること。
詳細設計	<ul style="list-style-type: none"> 詳細設計書の作成が完了し、必要なレビューが終了していること。 詳細設計書の品質評価を行い、詳細設計を終了して問題がない品質であること。 課題については整理され、対応計画が立てられていること。
開発・ 単体テスト	<ul style="list-style-type: none"> 作成したプログラムの単体テストが全て終了していること。 品質評価を行い、単体テストを終了して問題がない品質であること。 本工程で対応できない不具合がある場合は、課題として管理し、対応計画が立てられていること。
結合テスト	<ul style="list-style-type: none"> 結合テスト仕様書のテストケースに対するテストがすべて実施されていること。 品質評価を行い、結合テストを終了して課題がない品質であること。 本工程で対応できない不具合がある場合は、課題として管理し、対応計画が立てられていること。
総合テスト	<ul style="list-style-type: none"> システムテスト仕様書のテストケースに対するテストがすべて実施されていること。 品質評価を行い、システムテストを終了して問題がない品質であること。 受入テストが終了していること。 残課題がある場合は対応計画が定められていること。

3. リリース判定基準

3.1. リリース判定の概略

#	工程名称	概略
1	PM による判定	PM は、システムテスト工程の終了にあたり、当該プロジェクトがリリース判定基準を満たしているか確認し、基準を満たしていない場合には、対応策（運用での回避/制限付本番開始/リリース日の延期等）について、PJ 責任者が FOS 様と協議する。
2	リリース判定会議の開催	リリース判定会議に必要な資料を作成・準備し、リリース判定会議を開催する。 FOS 様は、FOS からリリース可能であることの説明を受け、その妥当性を検証して問題なければ承認を行う。FOS 様が対応策に問題があると判断した場合は、是正及び対応を FOS に指示する。

3.2. リリース判定基準

リリース判定基準については次のとおり。

- 各工程が適切に終了し本システムをリリースして問題ないこと。
- 移行計画、移行手順が確立され、移行時のコンティンジェンシープランが定められていること。
- 本システムのリリース後の運用手順が定められていること。
- 本システムのリリースに係る関係者への周知がされていること。
- 残課題がある場合はその対応計画が適切に定められていること。

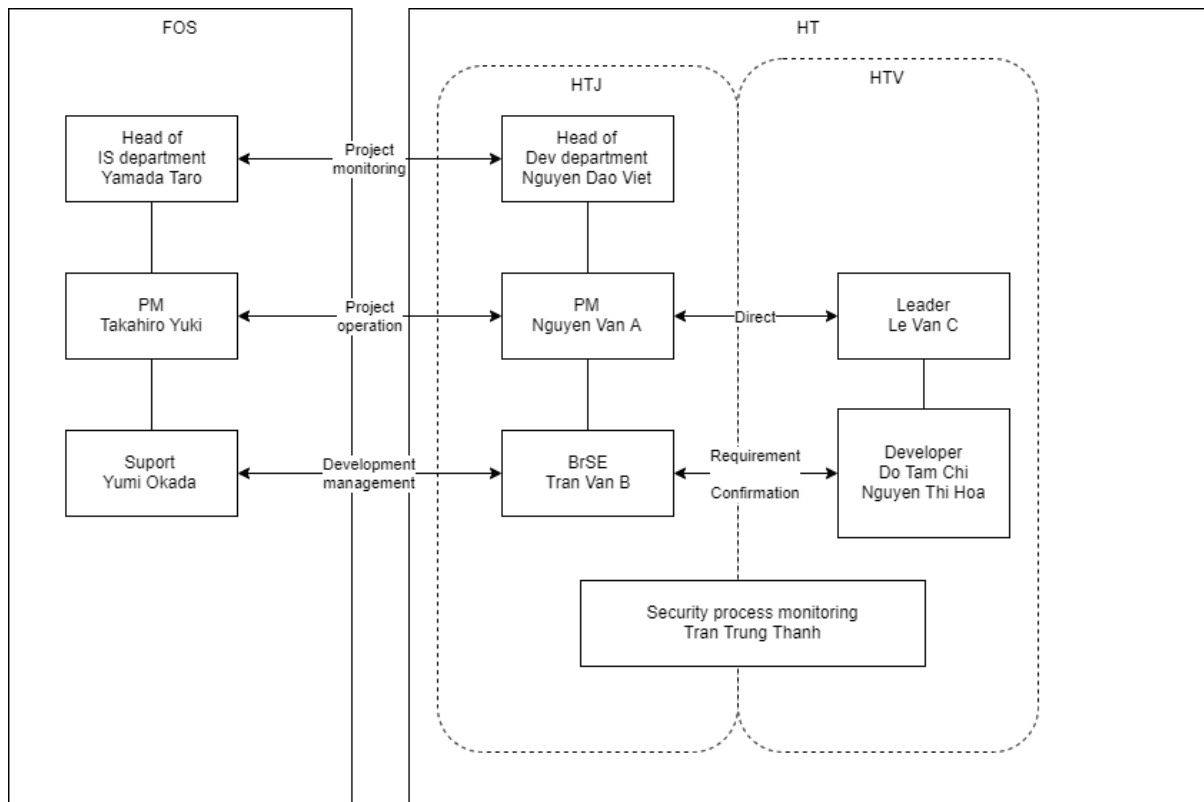
3.3. プロジェクト完了条件

次の内容を確認後、FOS 様からのプロジェクト完了報告書の承認をもってプロジェクトを完了する。

- ① 本プロジェクトに係る設計、構築、テスト、移行が FOS 様及び FOS にて合意したとおりに完了していること。
- ② 業務委託契約書に記載されている納入成果物を納め承認を受けていること。
- ③ 残存する課題事項の内容、期限等について承認を受けていること。

4. プロジェクト体制

4.1. 体制図



4.2. 役割

各人の役割を記す。

必要な役割:

#	役割
1	PJ 責任者、全体指揮監督、社内支援調整
2	PJ 全体管理・本社調整
3	PMP、共通フレーム 2013 のプロセス理解と適用
4	a. プロセス監査 b. セキュリティ監査
5	PJ 計画書、WBS 作成
6	PJ 管理、PJ 点検、課題管理
7	要件再定義、基本設計書作成
8	詳細設計書作成、コーディング、単体テスト
9	総合テスト計画書作成
10	結合テスト計画書作成
11	結合／総合テスト実施、データ整理
12	無影響試験実施
13	報告資料(議事録含む)作成
14	レビュー担当(社内)
15	レビュー担当、会議(お客様先)
16	SW、HW、開発環境等構築
17	お客様窓口、契約各種事務手続き
18	翻訳
19	日本語チェック

役割分担:

#	氏名	ポジション	役割
日本側			
1	Nguyen Dao Viet	PJ 責任者	1,15
2	Nguyen Van A	PM	1,2,3,4, 5,6,12,14,15
3	Tran Van B	ブリッジ SE、開発窓口	7,8,9,10,11,12,13 ,14,15,18,19
ベトナム側			
4	Le Van C	SE	8,10,11,12,14
5	DO TAM CHI(ド・タム・チ)	PG(プログラミング)	10,11,12,13
6	NGUYEN THI HOA(グエン・ティ・ホア)	PG(プログラミング)	10,11,12,13

Project Plan "Hệ thống quản lý từ vựng cho các dự án outsourcing"

7	Tran Trung Thanh	セキュリティー・プロセス管理	4a, 4b
---	------------------	----------------	--------

※ PJ 責任者・PM・ブリッジ SE 及び連絡窓口は日本語可、それ以外は日本語不可。

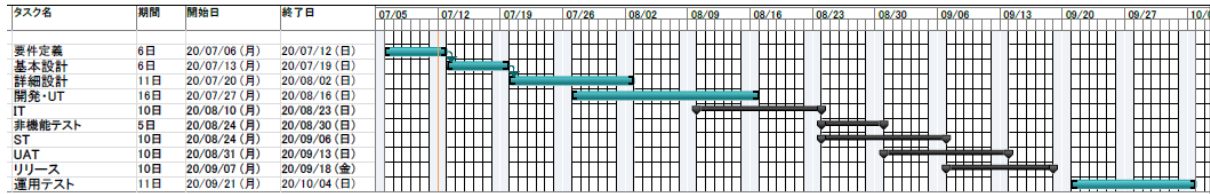
※ 「役割」の列は「必要な役割」の表を参照。

※ プロジェクト要員は、住宅宅地債券システムを構成する製品の開発・運用実績のある要員を選出する。

5. スケジュール管理

5.1. マスタースケジュール

マスタースケジュールを週次単位で示す。



マスタースケジュールのマイルストーンは次のとおり。

設計工程	開発環境	開発・単体	結合	総合	受入	リリース	リリース日
	設定	テスト	テスト	テスト	テスト	準備	
6/15～7/14	6/11～6/23	7/13～8/11	8/3～8/14	8/17～8/28	8/31～9/14	9/1～9/24	9月30日

5.2. WBS と日次スケジュール管理

WBS を作成し、各タスクについて日次のスケジュールで管理する。

WBS は別に提示する。

6. コミュニケーション管理

6.1. 会議体

本プロジェクトにおける会議体は次のとおり。

なお、全ての会議には、日本語で問題なく意思疎通できると FOS 様が判断した FOS の担当者が必ず同席する。

No.	コミュニケーション名	目的・内容	開催時期	実施形態	出席者・承認者等		
					HT		FOS
					情報システム部	市場資金部	
1	キックオフ	プロジェクト開始を宣言し、プロジェクト計画について、本件業務の関係者全員で確認する。	プロジェクト開始時 2015/6/10	対面	・部長 ・グループ長 ・担当者	・部長 ・グループ長 ・担当者	・プロジェクト責任者 ・管理責任者 ・管理者 ・担当者
2	プロジェクト状況報告	プロジェクトの進捗状況及び問題点等について報告する。	週次（必要に応じて随時）	対面 又は	・担当者	・担当者	・管理者 ・担当者

No.	コミュニケーション名	目的・内容	開催時期	実施形態	出席者・承認者等		
					HT		FOS
					情報システム部	市場資金部	
				回覧			
3	工程終了判定	成績書を元に品質評価を行い、次工程開始の可否及び次工程への申し送り事項を明確にする。	① 基本設計工程終了時 ② 結合テスト工程終了時	回覧	・グループ長 ・担当者	・グループ長 ・担当者	・管理責任者 ・管理者 ・担当者
4	リリース判定	総合テスト終了後、試験成績書を元に品質評価を行い、リリースの可否を判定する。	リリース前	対面	・部長 ・グループ長 ・担当者	・部長 ・グループ長 ・担当者	・プロジェクト責任者 ・管理責任者 ・管理者 ・担当者
5	レビュー	作成したレビュー対象物を機構が確認及び承認する。 ＜レビュー対象＞ ①基本設計書 ②総合テスト計画書 ③総合テスト結果報告書 ④移行計画等	適宜	対面	・担当者	・担当者	・担当者
6	プロジェクト計画変更 (エスカレーション)	進捗又はプロジェクト全体に影響を及ぼす問題が発生した場合に、対応検討のため適宜開催する。	適宜	対面	内容に応じて、出席者を決定する。		
7	検討会議	・個別の課題やタスクへの対応方針の検討 ・業務理解の促進	適宜	対面	・担当者	・担当者	・担当者

6.2. 連絡方法

原則メールで連絡を行う。

- HT 連絡窓口 Tran Van B btv@hybrid-technologies.com
- HT PM Nguyen Van A anv@hybrid-technologies.com
- FOS 様 連絡窓口 岡田 弓 yumi.okada@fos.com

緊急連絡は電話を用いる。

- HT 品川オフィス: 03-6890-8309 (平日 10 時～17 時)

6.3. レビュー計画

#	レビュー名称	レビューアー	被レビューアー	レビュー日
1	開発環境設定レビュー	HT 情報システム部	FOS	平成 27 年 6 月 23 日
2	設計書中間レビュー	HT 情報システム部 HT 各業務部門	FOS	平成 27 年 7 月 6 日～ 平成 27 年 7 月 7 日
3	設計書レビュー	HT 情報システム部	FOS	平成 27 年 7 月 13 日～ 平成 27 年 7 月 14 日
4	単体テスト結果レビュー	HT 情報システム部	FOS	平成 27 年 8 月 10 日～ 平成 27 年 8 月 11 日
5	結合テスト結果レビュー	HT 情報システム部	FOS	平成 27 年 8 月 17 日～ 平成 27 年 8 月 18 日
6	総合テスト結果レビュー	HT 情報システム部 HT 各業務部門	FOS	平成 27 年 8 月 27 日～ 平成 27 年 8 月 28 日

6.4. 調査報告等

FOS 様が必要と認めたときは、業務委託契約書第 27 条第 3 項にもとづき FOS 様は FOS の作業場所に立ち入り作業状況を検査又は関係資料を調査する。

7. 進捗管理方法

本プロジェクトでは次の方法で進捗管理を行う。

- ① プロジェクトの全体のスケジュールはマスタスケジュールをもとに作成した WBS で管理する。
- ② 開発担当者及び開発リーダーの報告に基づき、最新のプロジェクト実績を WBS に反映し、管理する。
- ③ FOS 内部の週次会議でスケジュールに対する実績差異を評価し、必要に応じて増員等の是正措置計画の作成を行う。その結果を受けて FOS 様に進捗状況等の報告を行う。
- ④ マスタスケジュールに影響するスケジュールの変更が必要な場合はプロジェクト変更会議で承認を得て、マスタスケジュール及び本書の改正を行う。

個別タスクの進捗やステータスの管理は、Excel や JIRA で行う。進捗率の目安は次のように設定する。

- 10%: 作業開始。
- 50%: 作業完了。
- 70%: 社内レビュー及び検証完了。
- 100%: FOS 様レビュー及び検証完了。

8. 品質管理

8.1. 品質確保の方法

成果物の品質確保のための方法・手順を記す。

なお、この方法・手順は、FOS の社内基準に基づき、FOS が設定したものである。

工程	品質メトリクス	目標値	目標値設定の根拠
基本設計	レビュー実施率(時間/ページ)	0.5 時間/ページ	0.5 時間/ページ
	不具合検出率(件/ページ)	5 件/ページ	5 件/ページ
詳細設計	レビュー実施率(時間/ページ)	0.5 時間/ページ	0.5 時間/ページ
	不具合検出率(件/ページ)	5 件/ページ	5 件/ページ
単体テスト	テスト密度(項目/KLOC)	100 項目/KLOC	100 項目/KLOC
	障害検出率(件/KLOC)	12 件/KLOC	12 件/KLOC
結合テスト	テスト密度(項目/KLOC)	30 項目/KLOC	30 項目/KLOC
	障害検出率(件/KLOC)	3 件/KLOC	3 件/KLOC
総合テスト	テスト密度(項目/KLOC)	10 項目/KLOC	10 項目/KLOC
	障害検出率(件/KLOC)	1 件/KLOC	1 件/KLOC

なお、役割 4a を担う者は品質管理プロセスが正しく実施されているかだけをチェックする。納品物について品質を確認し保証するのは、PM の責任とする。

各工程（要件定義、製造・単体テスト、結合テストを除く）の終了時には、下記の品質評価報告書を作成し、工程判定会議の判定を受ける。

①品質メトリクスの目標値と実績値の評価

※品質メトリクスの結果と目標値に乖離がある場合はその原因を特定し、品質に問題がある場合はその対応策を策定し対応を行う。

②不具合・障害の分析

③検出した課題

④是正策

⑤全体評価

8.2. バージョン管理

文章の命名規則・バージョン管理について記す。

- ファイル名には、そのファイルの目的、バージョンと作成日を記入する。
- バージョン管理は、Visual SourceSafe のツールを利用する。

9. リスク管理・課題管理・QA 管理

プロジェクトで発生・確認したリスク及び課題は、「リスク・課題管理表」(別添1)で管理する。

発生・確認したリスク・課題については、必要に応じて会議体で FOS より対策を提案し、協議を行う。

プロジェクトで発生した QA は、「Q&A 管理表」(別添2)で管理する。

言葉・用語について、FOS 様と FOS が共通認識を持つために、FOS において不明な言葉・用語が発生した場合は、「Q&A 管理表」で管理する。

リスク、課題又は QA が発生した場合、当該リスク・課題・QA 確認者は、確認した日の翌日までに当該リスク・課題・QA を PM に報告する。

「リスク・課題管理表」及び「Q&A 管理表」への登録・更新は、PM・開発窓口が行う。

10. 変更管理

本プロジェクトに係る変更は次のとおり。

FOS 様と FOS が協議の上合意した内容を書面により取り交わすこととする。

#	変更管理
1	要求定義書に記載された要件に対して変更等(変更要求)が発生した場合、FOS 様(情報システム部及び各業務担当部門)及び FOS で協議し、影響範囲等を確認する。
2	FOS は変更要求に対する実現方法を検討し、実現案や追加コスト要否等について FOS 様(情報システム部及び各業務担当部門)と協議する。
3	プロジェクトスコープに影響する変更や追加コストが必要となる変更要求については、プロジェクト計画変更会議で承認を得る。
4	FOS は変更要求を一覧管理する。

11. 外部資料管理方法

「業務外部委託基準書」に基づき管理を行う。

以上